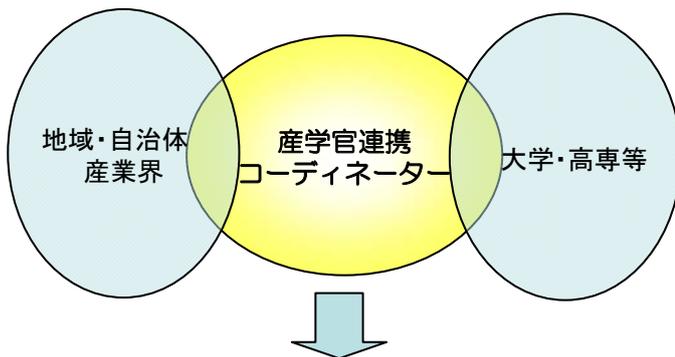


産学官連携戦略展開事業（コーディネートプログラム）

事業概要

共同研究の企画、契約、渉外等において、大学等では不足している分野での専門知識や実務経験を持った人材（産学官連携コーディネーター）を大学等に配置し、大学等から産業界、地域社会に対し知識の移転、研究成果の社会還元を果たす。



新たな連携の創出・産学官連携の高度化

コーディネーターは個々の産学官連携活動をきめ細かくサポート

コーディネーターは、大学等の産学官連携の取組みのステージに応じて活動を実施

産学官連携コーディネーターの主な役割（ステージ1）

- 大学シーズと企業ニーズの把握、発掘
- 大学シーズと企業ニーズのマッチング
- 大学研究成果の技術移転、事業化に向けたアドバイス

産学官連携コーディネーターの主な役割（ステージ2）

- 大学内外における産学官連携体制の構築支援
- モデルとなる産学官連携プロジェクトの企画・助言
- 教職員への産学官連携意識の醸成

産学官連携コーディネーターの主な役割（ステージ3）

- 地域、自治体との連携システムの構築支援
- 全国的なネットワークを活用して産業界の幅広いニーズに対応
- シーズ創造の促進、目利きによるシーズから事業化へのつなぎ

配置重点化の方針

○産学官連携の進捗に応じたコーディネーターの適切な配置

配置大学等の産学官連携の状況を見極めた配置の徹底検証。

○「地域の知の拠点再生担当」の重点配置（地域イノベーションの強化）

大学等と、地域における企業や地方公共団体等との連携を促進することにより、地域の特性を生かした地域産業の活性化や大学等を拠点とする産学官連携のネットワーク形成を図り、地域の大学等を核とした知識・人材の創出と地域活力の好循環の形成を促進する。（「地域の知の拠点再生プログラム」の一環）

○イノベーション創出に向けた「目利き・制度間つなぎ担当」の重点配置

大学等において、革新的技術シーズとニーズを結びつける場を形成するとともに、優れた研究成果の応用・発展可能性を見極め、実用化に向けた取組や、制度を越えて研究を進展させるための研究費制度への応募を促進し、優れた研究成果を切れ目なく実用化につなぎ、イノベーション創出や社会への成果還元に資する。

イノベーション創出に向けた目利き・制度間つなぎの強化

